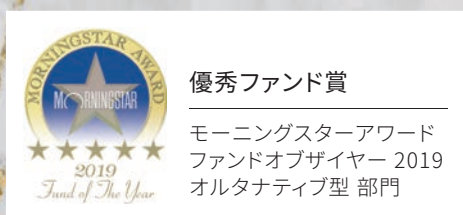


ピクテ・ゴールド(為替ヘッジあり)

追加型投信／海外／その他資産(商品)



優秀ファンド賞

モーニングスターアワード
 ファンドオブザイヤー 2019
 オルタナティブ型 部門

【三菱UFJ銀行からのご留意事項】

◎当ファンドは預金ではなく、三菱UFJ銀行は元本を保証しておりません。また、預金保険制度の対象ではありません。◎投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、価格変動リスク等があり、お受取金額が投資元本を大きく下回ることがあります。したがって投資元本および運用成果が保証されているものではありません。◎ご購入に際しては、購入時手数料(最大2.20%(税込))および保有期間中の運用管理費用(信託報酬)等の費用がかかります。◎ご購入に際しては、必ず最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補完書面」により商品内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。◎当ファンドをお取引いただくか否かが、三菱UFJ銀行におけるお客さまのほかの取引に影響を与えることはありません。◎当ファンドの購入代金に充当するための借入れを前提とした購入申込みはお受けできません。

【金融商品仲介口座を通じたご購入について】

当ファンドは三菱UFJ銀行の投資信託口座のほかに金融商品仲介口座(三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座)を通じたお取扱いをしております。金融商品仲介口座を通じたご購入に際しては、あらかじめ三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座の開設が必要です(金融商品仲介口座の開設をお申込みいただく、お取引口座は三菱UFJモルガン・スタンレー証券に開設されます)。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。投資信託説明書(交付目論見書)は、三菱UFJ銀行の本店までご請求ください。

投資信託口座を通じたお取扱いの場合

- お申込み・販売会社は



三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行
 登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号
 加入協会: 日本証券業協会
 一般社団法人金融先物取引業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当行の苦情処理措置および紛争解決措置は
 一般社団法人全国銀行協会または特定非営利活動法人
 証券・金融商品あっせん相談センターを利用します。
 全国銀行協会相談室: 0570-017109 / 03-5252-3772
 証券・金融商品あっせん相談センター: 0120-64-5005
 受付時間: 月～金曜日 / 9:00～17:00
 (祝日・12/31～1/3等を除く)

金融商品仲介口座を通じたお取扱いの場合

- お問合せ・ご照会先



三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行
 登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号
 加入協会: 日本証券業協会
 一般社団法人金融先物取引業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

- 委託金融商品取引業者・販売会社は

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号
 加入協会: 日本証券業協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 一般社団法人金融先物取引業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

- 設定・運用は

ピクテ投信投資顧問

ピクテ投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第380号
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 日本証券業協会

Morningstar Award “Fund of the Year 2019”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2019年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。オルタナティブ型 部門は、2019年12月末において当該部門に属するファンド121本の中から選考されました。



ファンドの特色

- 1 実質的に金に投資します
- 2 原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります
- 3 年1回決算を行います

- 毎年7月15日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。
- 必ず分配を行うものではありません。

※投資にあたっては、投資信託証券への投資を通じて行います。※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。※為替ヘッジを行うことで米ドル建ての金価格に近い値動きになりますが、円金利が米ドル金利より低い場合、円と米ドルの金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があります。

ピクテ
資産保全で築いた信頼

ピクテは、スイス・ジュネーブに1805年に設立されました。ナポレオン戦争時に貴族たちが財産を守るために頼ったのが、ピクテをはじめとするプライベート・バンク。以降、ピクテは2世紀にわたり世界の王侯貴族などの富裕層を中心とした顧客の資産を保全することで信頼を築いてきました。

実質的に金に投資



※金現物に直接投資するファンドとして、主としてピクテ(CH)プレシャス・メタル・ファンド・フィジカル・ゴールドの他、ETF(上場投資信託証券)も組入れることがあります。※一部でピクテ・ショートターム・マネー・マーケットJPYにも投資します。※当ファンドでは金現物は引き出せません。※上図はイメージです。

金は世界共通の通貨

希少性が高く、長い歴史のなかで一度も無価値になったことがない金は、古代より世界中で通貨として用いられてきました。

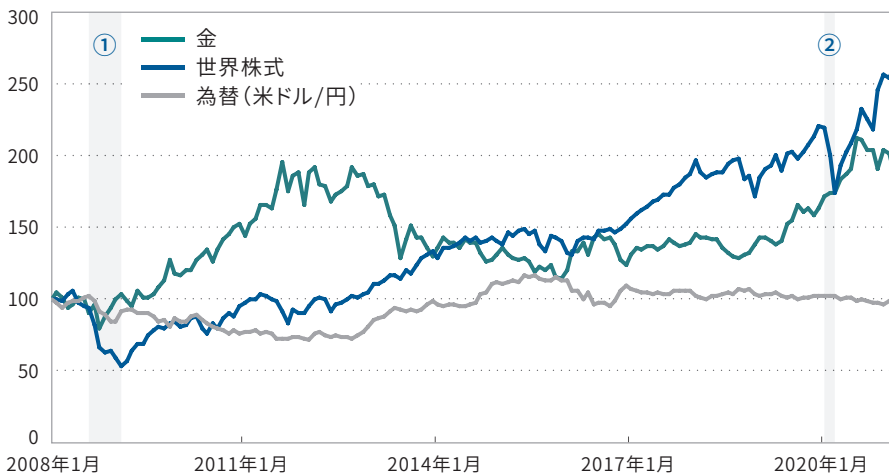
現在でも、各国中央銀行の外貨準備として大量に保有される金は、「世界共通の通貨」としての側面を持つ資産であると認識されています。



伝統的資産と異なる値動き

資産ごとに値動きの特性は異なります。特に金は過去、世界株式や為替(米ドル/円)とは異なる値動きをしてきました。

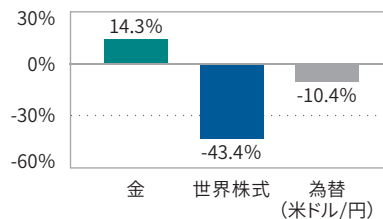
金、世界株式、為替(米ドル/円)の価格またはパフォーマンス推移
(月次、米ドルベース、期間：2008年1月末～2021年2月末)



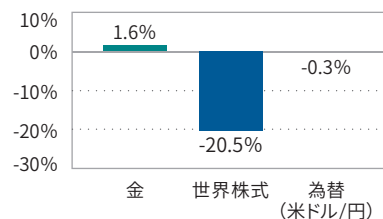
※2008年1月末=100として指数化

※①リーマン・ショック：2008年8月29日～2009年2月27日、②コロナ・ショック：2020年1月31日～2020年3月31日

①リーマン・ショック時の騰落率



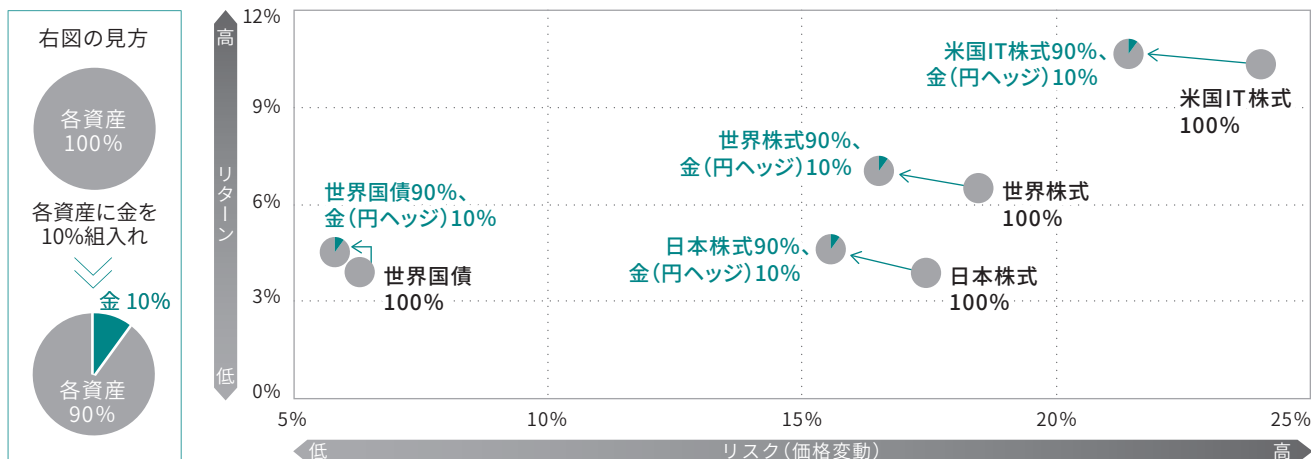
②コロナ・ショック時の騰落率



資産の一部に金を組み合わせる効果

金は株式や債券、通貨などと異なる値動きをする傾向がある投資対象として知られています。資産の一部に金を保有することで資産全体の値動きを安定化させる効果が期待されます。

各資産(円換算)と各資産に金(円ヘッジ)を10%組入れた場合のリスク・リターン特性
(月次、年率、期間：2001年2月末～2021年2月末)



※上記は金価格を使用したシミュレーションであり、ピクテ・ゴールド(為替ヘッジあり)の運用実績ではありません。

※上記はあくまでも各資産に10%の金を組入れた場合の試算値であり、10%の組入比率がもっとも効果的であることを示すわけではありません。

当資料で使用した金価格、指数およびデータの出所は以下の通りです。

金価格：ロンドン・ゴールド・マーケット・フィキシングLtd-LBMA PMフィキシング価格/USD、日本株式：TOPIX、世界株式：MSCI世界株価指数、世界国債：FTSE世界国債指数、米国IT株式：NASDAQ100指数。金(円ヘッジ)は金価格からヘッジコスト(米ドル、円Libor1カ月物の金利差)を控除。金価格以外はすべてトータルリターン。

出所：ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

※上記データは過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

投資リスク

基準価額の変動要因

- ファンドは、実質的に金に投資しますので、ファンドの基準価額は、実質的に組入れている金の価格変動等（外国証券には為替変動リスクもあります。）により変動し、下落する場合があります。
- したがって、投資者の皆さまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

金の価格変動リスク	為替に関する留意点
<ul style="list-style-type: none">●ファンドは、実質的に金に投資しますので、ファンドの基準価額は、実質的に組入れている金の価格変動の影響を受けます。●金の価格は、金の需給の変化や為替レート・金利の変動等の要因により変動します。金の需給は、政治・経済的事由、技術発展、資源開発、生産者や企業の政策、政府の規制・介入、他の金融・商品市場や投機資金の動向等の要因で変動します。	<ul style="list-style-type: none">●組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、為替変動の影響を受ける場合があります。また、円金利がヘッジ対象通貨の金利より低い場合、当該通貨と円との金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。

基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。 ※詳しくは、ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

お申込みメモ

※三菱UFJ銀行でお申込みの場合

購入単位	分配金再投資コース（累積投資コース）：1万円以上1円単位 購入単位には購入時手数料（税込）が含まれます。再投資される分配金については、1口単位とします。 投資信託口座を通じたお申込みの場合は上記以外の購入単位でのお取扱ひもごさい。くわしくは、三菱UFJ銀行のホームページをご覧ください。
購入価額/換金価額	申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 ※ファンドの基準価額は1万円あたりで表示されます。
換金単位	投資信託口座：1円以上1円単位、または1口以上1口単位、または全部。 金融商品仲介口座：1口以上1口単位、または全部。
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
購入・換金の申込不可日	スイスもしくはロンドンの銀行の休業日、ロンドン証券取引所の午後休業日または12月24日においては、購入・換金のお申込みはできません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
決算日	毎年7月15日（休業日の場合は翌営業日）とします。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入代金（注）に応じて、以下に定める手数料率を購入金額に乗じて得た額とします。購入時手数料（税込）は、購入代金から差し引かれます。 ●1億円未満： 2.20% （税抜2.00%） ●1億円以上3億円未満： 1.10% （税抜1.00%） ●3億円以上5億円未満： 0.55% （税抜0.50%） ●5億円以上： なし （注）購入代金＝購入金額（購入価額（1口当たり）×購入口数）＋購入時手数料（税込） ※インターネット取引でご購入の場合は、上記の手数料率から10%優遇。
--------	---

信託財産留保額 ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	毎日、信託財産の純資産総額に年 0.539% （税抜0.49%）の率を乗じて得た額とします。 [運用管理費用（信託報酬）の配分（税抜）] <table border="1"><thead><tr><th>委託会社</th><th>年率</th></tr></thead><tbody><tr><td>委託会社</td><td>年率0.15%</td></tr><tr><td>販売会社</td><td>年率0.3%</td></tr><tr><td>受託会社</td><td>年率0.04%</td></tr></tbody></table>	委託会社	年率	委託会社	年率0.15%	販売会社	年率0.3%	受託会社	年率0.04%	
委託会社	年率									
委託会社	年率0.15%									
販売会社	年率0.3%									
受託会社	年率0.04%									
投資対象とする投資信託証券	<table border="1"><thead><tr><th>投資対象とする投資信託証券</th><th>純資産総額の年率</th><th>（上限）</th></tr></thead><tbody><tr><td>フィジカル・ゴールド・ファンド</td><td>純資産総額の年率</td><td>0.34%</td></tr><tr><td>ショートターム MMF JPY</td><td>純資産総額の年率</td><td>0.3%</td></tr></tbody></table> ※上場投資信託証券につきましては銘柄毎に異なります。左記の報酬率等は、今後変更となる場合があります。	投資対象とする投資信託証券	純資産総額の年率	（上限）	フィジカル・ゴールド・ファンド	純資産総額の年率	0.34%	ショートターム MMF JPY	純資産総額の年率	0.3%
投資対象とする投資信託証券	純資産総額の年率	（上限）								
フィジカル・ゴールド・ファンド	純資産総額の年率	0.34%								
ショートターム MMF JPY	純資産総額の年率	0.3%								

実質的な負担 最大年率**0.879%**（税抜0.83%）程度
（注）組入上場投資信託証券により変動する場合がありますが上記最大年率を超えないものとします。2021年1月末日現在の組入状況および投資先ファンドにおいて適用されている報酬率に基づいた試算値は、年率0.76%（税込）程度です。
（この値はあくまでも目安であり、ファンドの実際の投資信託証券の組入状況により変動します。）

その他の費用・手数料 毎日計上される監査費用を含む信託事務に要する諸費用（信託財産の純資産総額の年率**0.055%**（税抜0.05%）相当を上限とした額）ならびに組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料等および外国における資産の保管等に要する費用等（これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。）は、そのつど信託財産から支払われます。また、フィジカル・ゴールド・ファンドについては、申込み・買戻し時に取引コスト相当額が申込価格に付加または買戻価格から控除され、当該ファンドの信託財産に留保されます。投資先ファンドにおいて、信託財産に課される税金、監督当局に対する年次費用、弁護士への報酬、監査費用、有価証券等の売買に係る手数料等の費用が当該投資先ファンドの信託財産から支払われることがあります。

※当該費用の合計額については、投資者の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ピクテのファンドや投資環境等に関する情報やセミナーについてより詳しく知りたい方は下記へアクセスください。



ピクテのホームページ
<https://www.pictet.co.jp>



ピクテ主催の各種セミナー・イベント等
<https://www.pictet.co.jp/seminar.html>



当資料をご利用にあたっての注意事項等

- 当資料はピクテ投資顧問株式会社で作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。●当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

※MSCI指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

お申込みの際は必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」等をご覧ください。